

# 小児科研修

## ◇ 研修目標および特徴

当院小児科研修の特徴は、小児科全般についての基本的診療から高度医療まで幅広く勉強できることである。感染症を中心とした一般的な症例の主治医になることで小児診療に必要な基礎的知識と技術を修得するとともに、重症例や稀な症例の精査治療過程を見学することで、小児医療への理解を深めることを目指す。また、PALS (Pediatric Advanced Life Support) のプロバイダー1名により、小児蘇生におけるガイドラインと実技も習得してもらえる。

## ◇ 研修内容 (方略)

### A. 外来研修

午前中の外来診療では、午前9時から問診、診察見学および処置などの業務ならびに患者への対応態度を指導医の指導のもとに習熟する。午後の特設外来（心身症、血液腫瘍、内分泌、乳児発達、アレルギー、神経）および超音波検査、聴力検査などの見学を通して、特殊検査法や診療の実際を学ぶ。

### B. 病棟研修

#### A) 第1期（前1か月）

- 研修医オリエンテーション：病棟業務の実際（指示の出し方、各種書類の扱い方、カルテの書き方他）
- 研修医セミナー（英文抄読会）総論、基本的技術、各論、各種検査、PALSプロバイダーマニュアル&小児1次究明処置訓練 など
- 指導医が主治医、研修医は副主治医となって実際の診療にあたる。

#### B) 第2期（後1～2か月）

主治医となる。マンツーマンで指導医がつく（主治医が診断・治療に主導的立場にあり、指導医は方針を協議・確認の上、主治医の診療に責任を持つ）。

#### C) 院外研修

堺市泉北夜間休日診療所の夜間救急（小児1次救急）の見学。

## ◇ 指導責任者

岡本 奈美

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	一般外来診察 病棟診察	乳児後期健診 予防接種
火	一般外来診察 病棟診察 心臓超音波検査	1ヶ月健診 感染制御チームラウンド
水	一般外来診察 病棟診察	血液腫瘍外来 予防接種 内分泌成長外来 新生児聴力検査 抄読会
木	一般外来診察 病棟診察	神経、学習障害外来 腹部超音波検査 心身症外来 乳児発達外来 アレルギー外来
金	一般外来診察 病棟診察	予防接種 カンファレンス

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する